JLCC 授業シラバス

講義コード	JC203
講義科目名	音楽文化にみる日本
開講年度	2023 年度
開講学期	前期（春学期）
曜日時限	木曜日 2 時限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	柴田 あづさ
使用言語	日本語
教室	
授業概要・目標	この授業では、日本音楽についてジャンルごとに歴史や伝統、楽器および旋律の特徴などを学ぶ。そして、代表的な作品を動画や実演で視聴し、歌詞を読み解き、歌う／語る体験を通してこの知識を深めていく。履修者は、日本音楽に対する知識を身に付けるだけではなく、自国の音楽との共通点と相違点を見出し、例を挙げながら説明できるようになることを目指す。
授業形態	1.講義　2.動画視聴および実演見学　3.体験　4.確認クイズの受験　5.宿題の提出　6.最終回での発表
履修に関わる注意事項	授業終了前に理解度確認のためのクイズを実施する。出題する問題は授業内容についてであるため、授業中はキーワードのメモをとり、わからないことがあれば教員に積極的に質問すること。また、事前に資料を配布するので、授業前によく目を通しておくこと。
授業計画	1:オリエンテーション、日本音楽の分類 2.雅楽と琵琶湖 3.【体験】雅楽 4.歌舞伎 5.和太鼓 6.【体験】和太鼓 7.民謡・子守歌 8.わらべ唄・童謡 9.【体験】筑前琵琶 10.沖縄の島唄 11.アニメ映画の音楽 12. 昭和の日本音楽

	13.近年の日本音楽 14.発表会準備 15.発表会
テキスト	使用しない
参考書	田中健次（2018）『図解日本音楽史 増補改訂版』東京堂出版 若林忠宏（2019）『日本の伝統楽器 知られざるルーツとその魅力 シリーズ・ニッポン再発見』ミネルヴァ書房 島添貴美子（2021）『民謡とは何か？オルフェ・ライブラリー』音楽之友社 西舘好子（2004）『「子守唄」の謎　懐かしい調べに秘められた意味』祥伝社 山本宏子（2002）『日本の太鼓、アジアの太鼓』青弓社 釣谷真弓（2013）『人物でたどるおもしろ日本音楽史』東京堂出版 星川京児他編（2002）『200CD 邦楽 伝統とニューウェーブ』立風書房　等
成績評価	授業態度 20%、理解度確認クイズ 30%、宿題 20%、発表 30%
学習相談	授業の前後または要望に応じて対応する。
その他 （自由記述欄）	※授業計画は変更になることがある。